



OSS Consortium

オープンソース
ソフトウェアを
通じてビジネスに加速を



OSS 之助(おすのすけ)をよろしくお願いします

<http://www.osscons.jp/>



● OSSコンソーシアムはこんな団体です

● 部会と運営組織

- AI IoT Robotics Automotive部会
- オープンCOBOLソリューション部会
- 開発基盤部会
- データベース部会
- 東海支部
- ビジネスアプリケーション部会
- 分散コンピューティング部会
- スタッフ (役員・事務局)

● コンタクト先



OSSコンソーシアムはこんな団体です

OSSコンソーシアムはこんな団体です

●【目的】

- 会員企業（ユーザ）のOSS採用促進
- 会員企業（ベンダー）のOSSビジネスの推進
- OSS市場の活性化貢献

●【基本ポリシー】

- ビジネスとしてのOSSをメインテーマとして、OSS市場活性化に向けた問題点の解決や利点の発展を活動主眼とする。
- 前項実現のためには、会員間での協力による効率的なアウトプットを行うことを心がける。
- ユーザが参画できるようなコンソーシアム環境の整備及び活動の実現を目指す



わかりやすく話すと…



- OSSの価値観を大事にしている企業メンバが集まったビジネスコンソーシアムです。
 - 仕事に役立てられる活動をしたいと思っているメンバが中心ですが、会員各位の参加の動機はとても様々だと思います。
- テーマを共有できるメンバと一緒に部会活動をするのが、最大の売り物です。
 - 会員同士の取引関係はあったりなかったりいろいろですが、そこは重要ではありません。
- 他社と集まることにメリットと喜びを感じているメンバが多いので、懇親会は公式・非公式によくあります。

参加とできること

● 部会活動

- 参加部会数や参加人数に制限はありません。
- 部会やイベントによってはゲスト参加も可能です。

● 他社との交流の場

- 部会, 委員会, 懇親会, イベント出展, などなど

● Webサイトやメルマガを使った自社活動の告知やアピール

- OSSに関連している必要があります。

● 部会活動や出展イベントの場で会員企業の製品・サービスをテーマにすることも可

- 正会員として部会活動の主要メンバになっていただく必要があります。



いろいろな参加のしかた(会員種別)

会員種別		対象／年会費	メリット
ビジネス会員	理事会員	➤理事企業 ➤96,000円(不課税)	➤議決権 ➤部会の参加 ➤各種サービスの利用 ➤OSSコンソーシアム主催イベントでの関連カタログの配布
	一般会員	➤OSS関連のテクノロジーそのものでビジネスを実施もしくは計画されている企業、団体・個人 ➤60,000円(不課税)	➤投票権 ➤部会の参加 ➤各種サービスの利用 ➤OSSコンソーシアム主催イベントでの関連カタログの配布
	準会員	➤一般会員の期限付き試用会員 ➤無料	➤投票権はなし ➤OSSコンソーシアム主催イベントでの関連カタログの配布もなし ➤登録のみで参加可能
賛助会員		➤OSS関連のテクノロジーを利用している個人 ➤活動運営費として年間一口(6000円)以上の寄付	➤部会の参加 ➤各種サービスの利用
メルマガ購読		➤セミナーに申し込みされた方, Webサイトから購読を申し込みされた方 ➤無料	➤メルマガ配信

部会・運営組織

部会一覧 (2021年度)

- AI IoT Robotics Automotive部会
- オープンCOBOLソリューション部会
- 開発基盤部会
- データベース部会
- 東海支部
- ビジネスアプリケーション部会
- 分散コンピューティング部会

部会の構成や名称は
ときどき変わります



IoT/組み込み/人工知能分野におけるOSSの普及・利用の促進を行う

- IoT/組み込み分野、ロボット/自動運転とそのため的人工知能(AI)分野などで使用されるOSSの情報収集、議論、情報共有を行います。また、当該分野におけるOSSの普及・利用の促進に向けた活動を行います。

●部会リーダー



(株)アックス
代表取締役会長 竹岡 尚三

ユニテックシステム(株)
業務改善企画室 室長 宇田川 勝一



基幹システムへのopensource COBOLの普及促進を図る

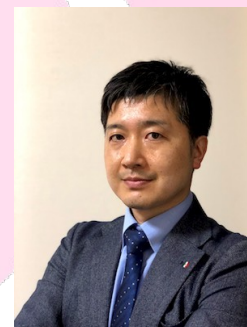
- プロプライエタリな環境が一般的なCOBOLの開発においてもオープンソースのメリットを活かすため、OSS COBOLを技術・ビジネスの両面からサポートできるように整備していき、基幹システムにおけるOSS化の普及・促進を図ります。

● 部会リーダー



(有)ランカードコム
代表取締役 峰松 浩樹

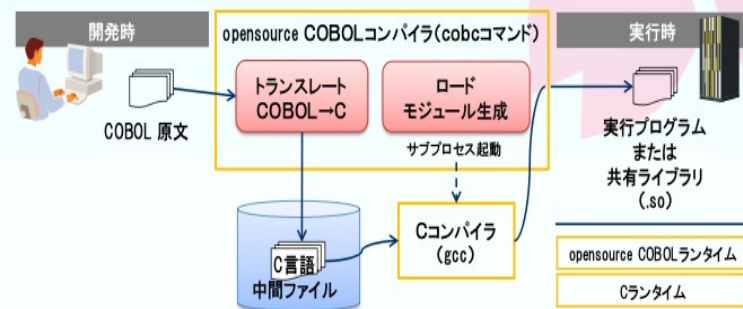
東京システムハウス(株)
マイグレーションソリューション部 部長 比毛 寛之



opensource COBOLのご紹介

言語仕様 基本的にCOBOL85準拠

構成 コンパイラ+ランタイム
Cトランスレータ方式のため、前提製品としてCコンパイラを必要とします
(Linuxの場合はgcc、Windowsの場合はcl.exe。)



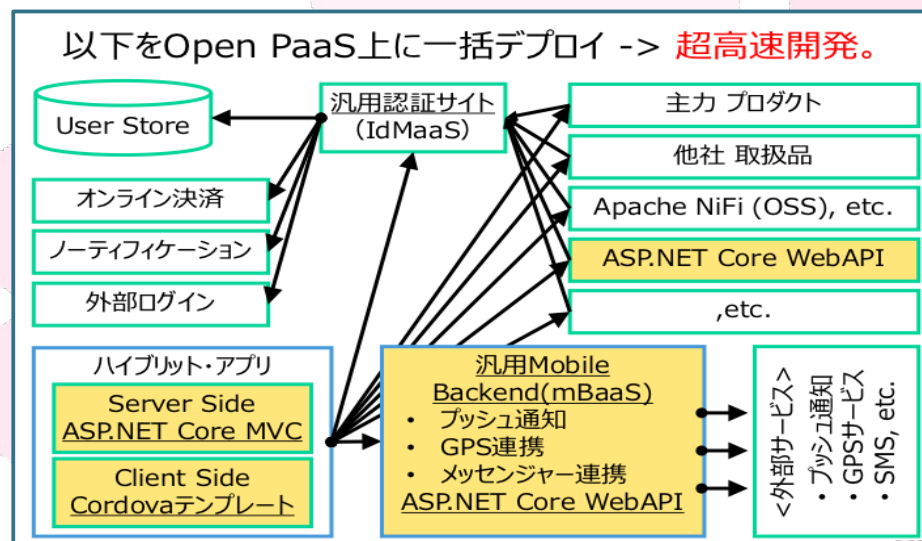
企業のITインフラのポートフォリオの拡充

- issueを解決するために使用する各種オープンな要素技術やプラットフォームを、幅広い開発技術を用いてパッケージ(統合)する。また、その際の効率向上も行う。そして、これら技術的アウトプットを継続的に公開する。

- 部会リーダー



(株)日立ソリューションズ西日本
技師 西野大介



データベース領域でのオープンソースの更なる発展促進を図る

- 特定のプロダクトにとらわれず、第三者的な立場で様々なデータベースの情報を収集し、それらをユーザ・ベンダにフィードバックする機会を提供します。また、データベースの垣根を越えたイベントなどを開催します。

- 部会リーダ

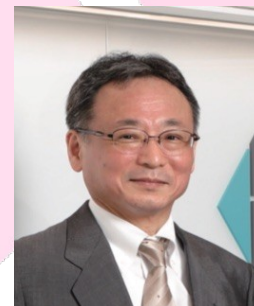


(株)デジタル・ヒューズ・テクノロジー
代表取締役 鵜川 徹



IT基盤技術推進部 主査

TIS株式会社
溝口 則行



東海地方のOSSのビジネス利用促進を図る

- 東海地方において、OSSの利用促進とともに、ビジネス拡大を図ります。調査、勉強会およびセミナーを通じて、OSSを広く知ってもらい、導入利用のサポートおよび開発など、この地域のOSSビジネスの受け皿となるように活動していきます。

後援：オープンデータ浜名湖 Night（全9回）



3/3 後援：「地域の情報を地図にしよう！」～オープンデータイ2018 in Kosai～



● 部会リーダ



(株)パドラック
代表取締役 杉本 等

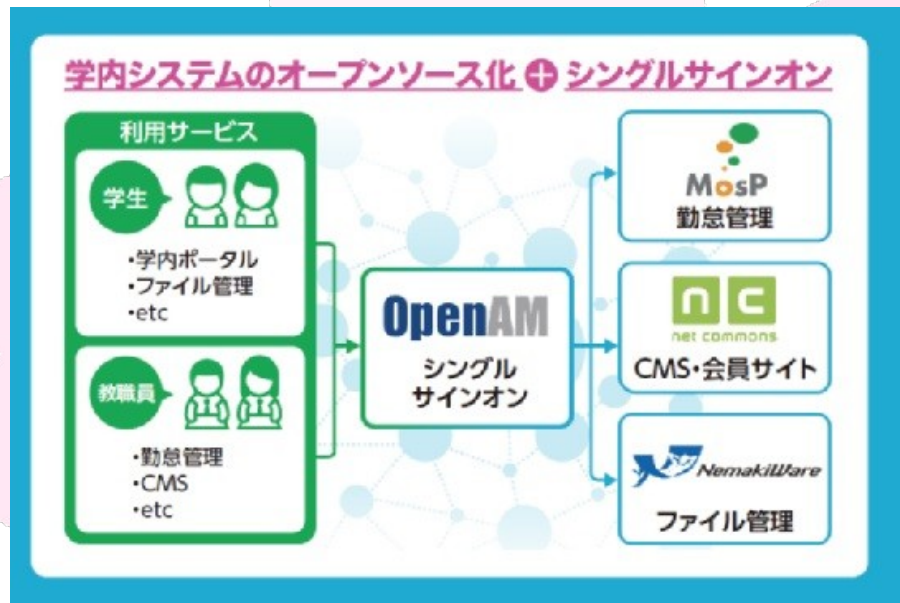
オープンソースビジネスアプリケーションの普及促進を行う

- ビジネスアプリケーションレイヤーにまで浸透してきているOSSですがユーザーに対するメリットの説明不足や、信頼性に関する誤解が多々見受けられます。それらの誤解を払拭すべく、積極的に啓蒙活動を行います。

- 部会リーダー



(株)ゼンク
代表取締役 増田 芳憲



オープンソースな分散コンピューティング技術の普及促進

- オープンソースな分散コンピューティング技術は、ニアリアルタイムのストリーム処理も可能な技術に発展し、IoTやAIなどの基盤技術となっています。本部会では、Hadoop/SparkやAsakusa Framework等、オープンソースな分散コンピューティング技術の情報収集・情報交換及び公開を行い、導入活用に向けた普及促進を行います。

● 部会リーダー



(株) 日立ソリューションズ
技師 才所 秀明

(株) ノーチラス・テクノロジーズ
代表取締役社長 目黒 雄一



コンタクト先

- ご関心のある方は…
 - 部会にゲスト参加してみてください。
 - 運営委員会の見学もできます (毎月開催)。
 - 総会は毎年公開で開催 (6～7月)。
- 参加してみたいが迷われている場合は…
 - 準会員制度をご利用ください (6ヶ月間)。

● Webサイト

<https://www.osscons.jp/>

● メルマガ申込

<https://www.osscons.jp/ezone/>

● 会員申込

<https://www.osscons.jp/aboutus/joinus/>

● 各種お問い合わせ

<https://www.osscons.jp/contactus/>

● Facebook

<https://www.facebook.com/ossConsortium/>

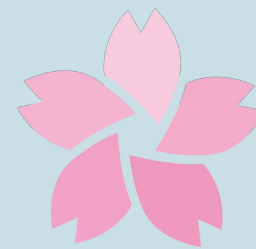
部会予定など

- Webサイトトップページで部会やセミナーの開催予定を公開しています。

部会&セミナー開催情報

ときどき更新をサボってます…

2018						
09						
	日	月	火	水	木	金
1 週	26	27	28	29	30	31
2 週	2	3 gihyo.jp記事 掲載 (DB...	4	5	6	7
3 週	9	10	11 15:30-17:00 【教育 ICT & BA部 会】 17:00-18:30 部会発表&運 営委員会	12	13 16:00-17:30 【DB部会】 16:00-17:30 【DB部会】	14
4 週	16	17 敬老の日	18	19	20	21
5 週	23 秋分の日	24 (振替休日)	25	26	27	28
6 週	30	1	2 17:00-18:30 【教育 ICT & BA部 会】	3	4	5



お気軽にご参加ください
(会員一同)

まずは無料メルマガから
<https://www.osscons.jp/ezine/>
(広報委員)

お問い合わせだけでも大丈夫です!
(事務局)

本資料はLibreOfficeで作成しています。

